

家計調査の結果を見る際のポイント No.5

**猛暑と記録的な残暑の影響**

今年(平成19年)の8月は各地で最高気温が更新されるような猛暑となり、9月も記録的な残暑が続きました<sup>注1)</sup>。このような暑い夏となった場合、一般に家計消費に対してはプラスの効果、いわゆる「猛暑効果」等がもたらされるとみられています。

そこで、平成19年8月と9月の結果をみますと、飲料やエアコンディショナなどが前年同月に比べて増加していますが、増加する品目ばかりではありません。9月の結果をみますと、高気温により水温も高いことから、お風呂を沸かすための燃料が少なくて済むため、ガス代<sup>注2)</sup>や灯油が前年同月に比べて減少しています。また、記録的な残暑だったことから、秋物衣料の購入が控えられたこともあって、洋服やシャツ・セーター類が減少しています。

平成19年8月分結果  
猛暑により消費支出の増加に  
寄与したとみられる主な品目等

	実質増加率(%)	寄与度
<b>食料</b>		
アイスクリーム・シャーベット	8.0	0.03
飲料	5.7	0.09
ビール	13.6	0.09
発泡酒	10.1	0.02
<b>家具・家事用品</b>		
電気冷蔵庫	79.0	0.17
エアコンディショナ	45.0	0.17
タオル	56.2	0.04
<b>被服及び履物</b>		
帽子	11.2	0.00
<b>教養娯楽</b>		
スポーツ用品 (水着を含む)	15.2	0.03
<b>その他の消費支出</b>		
浴用・洗顔石けん	11.3	0.01
シャンプー	5.7	0.01
ヘアリンス・ヘアトリートメント	5.8	0.00
化粧クリーム (日焼止めクリームを含む)	19.2	0.02

平成19年9月分結果  
記録的な残暑により消費支出の増減に  
寄与したとみられる主な品目等

	実質増減率(%)	寄与度
<b>【増加に寄与】</b>		
<b>食料</b>		
アイスクリーム・シャーベット	20.3	0.05
飲料	7.7	0.11
ビール	24.5	0.10
<b>光熱・水道</b>		
電気代	1.1	0.04
上下水道料	1.7	0.03
<b>家具・家事用品</b>		
電気冷蔵庫	47.9	0.05
エアコンディショナ	61.3	0.07
タオル	24.1	0.01
殺虫・防虫剤	8.4	0.01
<b>その他の消費支出</b>		
浴用・洗顔石けん	8.5	0.01
シャンプー	12.4	0.01
ヘアリンス・ヘアトリートメント	11.3	0.01
<b>【減少に寄与】</b>		
<b>光熱・水道</b>		
ガス代	-2.8	-0.04
灯油	-28.7	-0.06
<b>被服及び履物</b>		
洋服	-4.0	-0.06
シャツ・セーター類	-7.0	-0.06

(平成19年11月30日 作成)

注1) 8月16日には埼玉県熊谷市と岐阜県多治見市で最高気温が40.9 となり、74年ぶりに国内の最高気温が更新されました。また、9月は新潟市や神戸市など全国64の観測点で平均気温がこれまでの最高値を更新しました。

注2) ガスの使用月とガス代の支払月の関係については、「家計調査の結果を見る際のポイントNo.3」を参照願います。